



提供：金子みすゞ著作保存会



三大童謡詩人とみすゞ展

さんだいどうようしじん



大正・昭和初期にさまざまな文芸童謡雑誌に詩を投稿していた童謡詩人・金子みすゞ。当時は、全国で童謡が盛んに作られていました。まさに童謡の黄金期です。みすゞは多くの童謡詩人の中で「巨星」と称されるほどその才を存分に振るっていました。

童謡がこれほど流行した背景には、三大童謡詩人と呼ばれる詩人たちの尽力がありました。「揺籠のうた」の北原白秋、「かなりあ」の西條八十、「赤い靴」の野口雨情。彼らは多くの童謡詩人たちに慕われました。みすゞも例外ではなく、彼らの作品を書き残した手帳が実際にのこっています。

三大童謡詩人からどのような影響を受けながらみすゞが詩を紡いでいったか。それははなやかな童謡の歴史を垣間見ることにもなります。どうぞ熱い童謡の時代に思いを馳せながらご覧ください。

令和3年4月5日(月)～6月30日(水)

9:00～17:00

(最終入館は16:30まで)

金子みすゞ記念館

Kaneko Misuzu Memorial Museum

〒759-4106 山口県長門市仙崎1308番地

TEL: 0837-26-5155 FAX: 0837-26-5166